

おおくらだより



令和5年9月12日

(文責) 北九州市立大蔵小学校 校長 増田 知夏子

【学校教育目標】

「心身ともに健康で、
知・徳・体の調和のとれた
自主的で実行力のある児童」の育成

9月9日(土)、大蔵川クリーン作戦、大成功！

まずは、全員で体育館へ行き、事前学習として「環境ミュージアム出張環境講座」を受けました。初めに、大蔵川に生息する生き物の紹介がありました。その後、絶滅危惧種・準絶滅危惧種という言葉の説明や世界中で生き物が減っているお話をしてくださいました。わかったことは、人による乱獲、生き物の住処の消失、地球温暖化等で生き物が減っているという悲しい事実でした。

最近では、生産コストがかからず便利でもあるプラスチック製品が私たちの生活の中に多く用いられています。軽くて持ち運びやすく、自由自在に形をかえられるプラスチック類は、飛んで行ったり、転がって行ったりして川から海へと流れていき、カメやイルカや鳥たちが飲み込んでしまったりする事故に繋がっているそうです。また、マイクロプラスチック問題についても触れられました。マイクロプラスチックの堆積で起こる様々な環境問題、そこから人体に及ぼす影響等も心配が尽きません。今回の講座を通して、【プラスチック類は便利であり、悪いものではない。私たちが正しく使って正しく捨てることが大切だ。】と学びました。そこで、海に流れてしまう前に、川の段階でゴミを減らそう！ということをクリック作戦の目標にしました。

※以下は、講座を受けて全校児童の前で発表した内容です。(各学年1人)

「プラスチックは飛んで行ってしまふから、自分はポイ捨てをしない。あつたら拾います。」

「プラスチックの便利さを知っていたけど、マイクロプラスチックになったら、生き物が食べて、それを人間が食べてしまふから自分たちの生活に関わっていることがわかつた。」

「大蔵川には自分が思つてもいない生き物がいるようなので見に行つてみたい。」

「プラスチックは自分たちがポイ捨てしているから悪いものになるとわかつた。」

「プラスチックには良いところと悪いところがあると知ることができた。」

「小さな生き物がいなくなつてしまふのは悲しい。」

振り返りからも、しっかりとお話を聞き、学ぶことができていたことが伺えました。聞く姿勢もよく、静かにお話を聞いては「ふう〜ん」「へえ〜！ そうなんだ！」と、よく反応していました。

講座終了後、環境ミュージアムの方からは、「質問や発表の手がたくさんあがつて、とても雰囲気の良い学校ですね。」とお褒めの言葉をいただきましたよ。嬉しいですね！

その後、地域の方(保護者の皆さまもありがとうございました！)と川や公園、花壇に分かれて清掃活動を行いました。雑草を抜き、ゴミや落ち葉をたくさん拾い、かき集めました。水に濡れた落ち葉は重たかつたですね。11日(月)の朝、見守り隊の方から「川を清掃して気持ちがつつきりしたのか、今朝は挨拶もよくしている気がします♪」と言われました(´_`)~☆色々な方があちこちで気にかけてくださつて子どもたちを育ててくださっています。

今日の経験を大切に、川や自然を大切にしていましょうね。